

薬剤耐性菌とは？

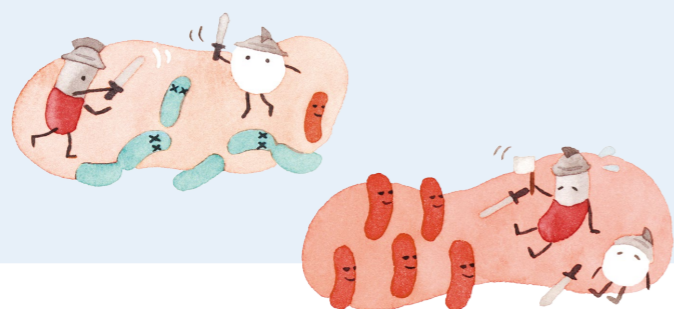
「薬剤耐性菌」とは、抗菌薬が効かない、もしくは効きにくい細菌です。私たちの体の中では無数の細菌(常在菌)がバランスを保ち健康環境を守っています。

抗菌薬を飲むと、体の中の細菌のバランスが崩れ、薬剤耐性菌が増えやすくなります。また一部の菌が、抗菌薬から逃れるために薬剤耐性菌に変化してしまうことがあります。

薬剤耐性菌を増やさないために

抗菌薬が必要な時以外は飲まないようにすることが重要です。感冒(かぜ)はウイルスの感染なので抗菌薬は効きません。

また、抗菌薬が必要と判断され処方された時は、指示されたのみ方でのみ切ってください。抗菌薬を中途半端に使用してしまうと、菌が死にきらずに耐性化することがあります。



患者のみなさまへ

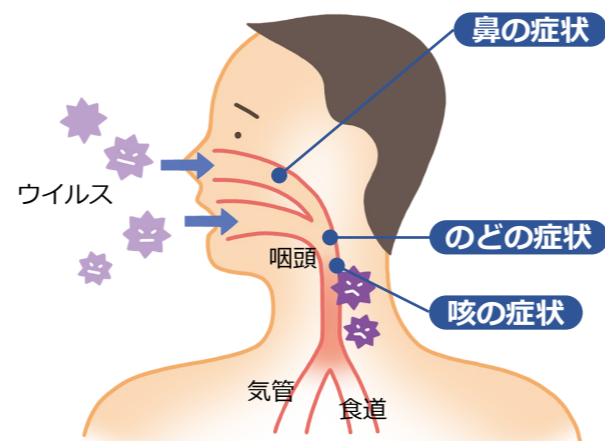
感冒(かぜ)

かぜは多くの方が年に数回かかる非常によくある病気です
たいていの場合は自然によくなります



感冒(かぜ)

かぜの主な原因はほとんどがウイルスによるものです。上気道といわれる鼻やのどの粘膜にウイルスが感染すると、鼻の症状、のどの症状、咳の症状がまんべんなく出ます。

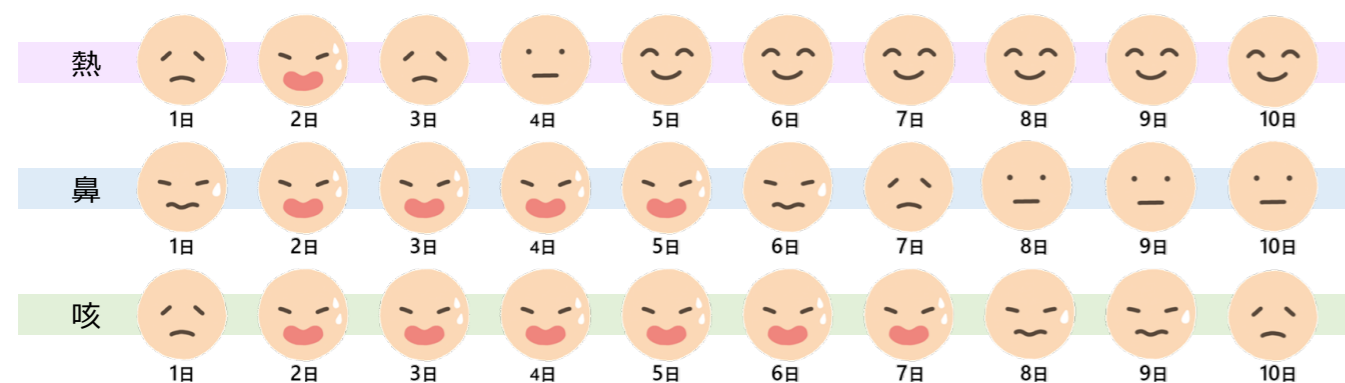


◆ これからの症状は？

- 症状が出てから3日目くらいまでは、のどの痛みや鼻水などがひどくなったり、熱が続いたりします。
- 7-10日間でだんだん良くなっていきます。
- 咳は3-4週間ほど残ることもあります。



症状のある人の割合の変化



咳は3~4週間ほど残る場合があります

◆ 治療は？

- ゆっくり休んで、栄養をとりましょう。
- 熱や汗で水分が奪われます。しっかりと水分をとりましょう。
- 熱はウイルスと戦うために出ていますが、高熱が辛い時は解熱剤をのむと少し楽になります。
- タバコを吸っている方は、かぜが長引くのでやめましょう。
- マスクを正しく着用し、手洗いをしっかりして、周りの人にうつさないように心がけましょう。

再度受診が必要な場合

最初にかぜに見えても、後から別の病気だとわかることもあります。下記の症状に当てはまる時は、もう一度受診しましょう。

- 38℃前後の発熱が4日以上続く
- 息をすると胸が痛い
- 息苦しい
- 症状が出始めて4日以上たってもよくなる
- 食事や水分を取れなくなってきた
- 経過に不安がある

【抗菌薬とは】

抗生物質といわれることもあります。病気の原因となる細菌を殺したり増やさなくする薬です。

【かぜに抗菌薬は効きません】

- かぜはウイルスの感染によるものです。
- ウイルスの感染症には抗菌薬は効きません。
- 不必要に抗菌薬を使うと、抗菌薬が効きにくい細菌(薬剤耐性菌)が生まれる可能性があります。薬剤耐性菌ができると、今後、抗菌薬が必要な病気の時に使える抗菌薬が少なくなり予防や治療がうまくいかなくなることがあります。
- 抗菌薬をのむと、下痢、吐き気や発疹などの副作用がでることがあります。



*免疫を低下させる薬をのんでいる方、肺や心臓に病気がある方は違った経過になることもあります。主治医の先生とよくご相談ください。

薬剤耐性菌とは？

「薬剤耐性菌」とは、抗菌薬が効かない、もしくは効きにくい細菌です。私たちの体の中では無数の細菌(常在菌)がバランスを保ち健康環境を守っています。

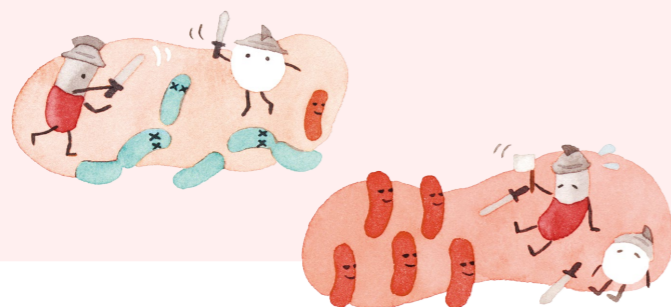
抗菌薬を飲むと、体の中の細菌のバランスが崩れ、薬剤耐性菌が増えやすくなります。また一部の菌が、抗菌薬から逃れるために薬剤耐性菌に変化してしまふことがあります。

薬剤耐性菌を増やさないために

抗菌薬が必要な時以外は飲まないようにすることが重要です。

多くの鼻副鼻腔炎はウイルスの感染なので抗菌薬は効きません。

また、抗菌薬が必要と判断され処方された時は、指示されたのみ方でのみ切ってください。抗菌薬を中途半端に使用してしまうと、菌が死にきらずに耐性化することがあります。



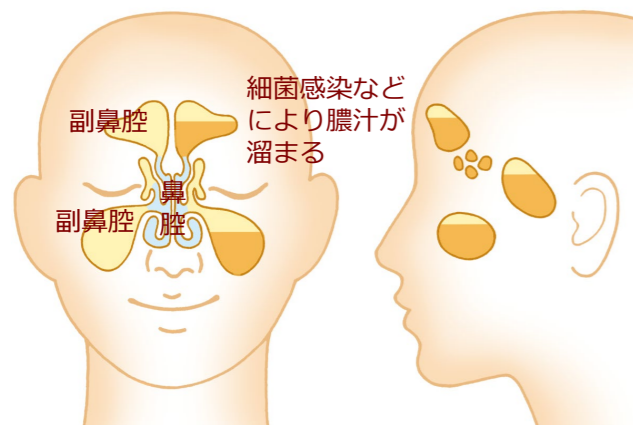
患者のみなさまへ

急性鼻副鼻腔炎

ウイルスや細菌の感染で副鼻腔の粘膜が荒れたり腫れたりするのが副鼻腔炎です



急性鼻副鼻腔炎

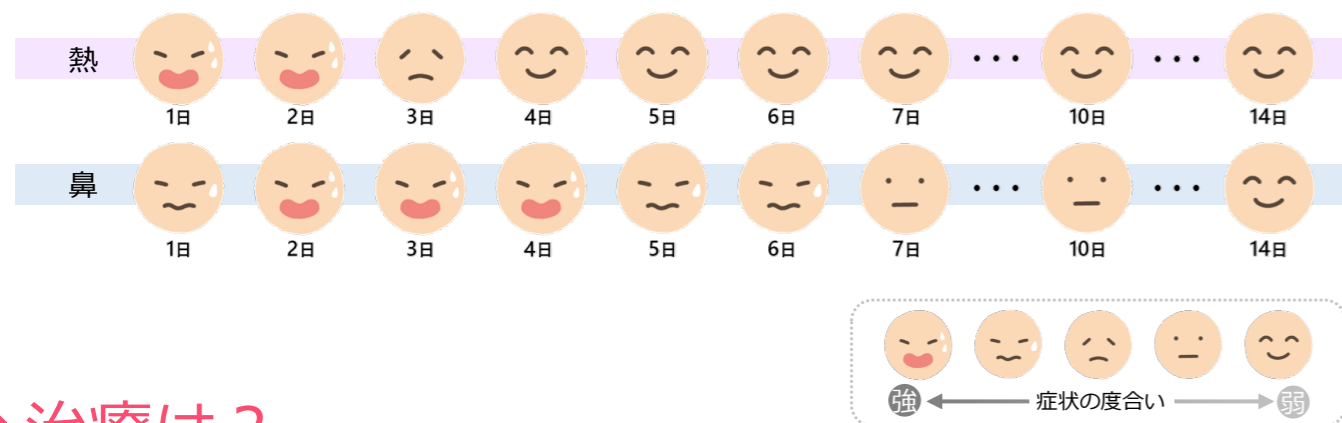


副鼻腔は顔の骨の中にある空洞で、鼻とつながって空気の温度や湿度を調整しています。ウイルスや細菌の感染で炎症がおり、鼻の粘膜が腫れて、発熱、鼻水や鼻づまりなどの症状がでるのを鼻副鼻腔炎といいます。

◆ これからの症状は？

- ・ 熱や体のだるさは3日目くらいまで続きますが、その後よくなります。
- ・ 鼻の症状は、2-3週間かけて徐々に治っていきます。

一般的な症状の強さの変化



◆ 治療は？

- ・ ゆっくり休んで、栄養をとみましょう。
- ・ 熱や汗で水分が奪われます。しっかりと水分をとみましょう。
- ・ 自然に治ることも多く、基本的に抗菌薬は不要と言われていますが、長引く場合、症状がひどい時は抗菌薬が処方されることがあります。
- ・ 抗菌薬を処方された場合は、用法用量を守ってのみ切りましょう。
- ・ 鼻水、鼻づまり、頭痛、顔の痛みがひどい時は、症状を抑える薬をのむと楽になります。
- ・ 経過が思わしくない場合は、再度受診してください。

再度受診が必要な場合

最初は自然に治っていく鼻副鼻腔炎に見えても後から症状が重くなって別の薬が必要になることもあります。下記の症状に当てはまる時は、もう一度受診しましょう。

- 目の下や額のあたりの痛みが強くなってきた
- 38℃前後の熱が4日以上続く
- いったん治りかけた症状が再度悪化した
- 7-10日経っても鼻水が減らない

【抗菌薬とは】

抗生物質といわれることもあります。病気の原因となる細菌を殺したり増や差なくする薬です。

【ウイルスに抗菌薬は効きません】

- ▶ 抗菌薬は細菌をやっつけるものです。そのため、ウイルスの感染症には抗菌薬は効きません。
- ・ 不必要に抗菌薬を使うと、**抗菌薬が効かない細菌(薬剤耐性菌)**ができる可能性があります。薬剤耐性菌ができると今後、抗菌薬が必要な病気の時に使える抗菌薬が少なくなり予防や治療がうまくいかなくなることがあります。
- ・ 抗菌薬をのむと、下痢、吐き気や発疹などの副作用がでることがあります。



*免疫を低下させる薬をのんでいる方、肺や心臓に病気がある方は違った経過になることもあります。主治医の先生とよくご相談ください。

薬剤耐性菌とは？

「薬剤耐性菌」とは、抗菌薬が効かない、もしくは効きにくい細菌です。私たちの体の中では無数の細菌(常在菌)がバランスを保ち健康環境を守っています。

抗菌薬を飲むと、体の中の細菌のバランスが崩れ、薬剤耐性菌が増えやすくなります。また一部の菌が、抗菌薬から逃れるために薬剤耐性菌に変化してしまうことがあります。

薬剤耐性菌を増やさないために

抗菌薬が必要な時以外は飲まないようにすることが重要です。急性咽頭炎の多くはウイルスの感染なので抗菌薬は効きません。

また、抗菌薬が必要と判断され処方された時は、指示されたのみ方でのみ切ってください。抗菌薬を中途半端に使用してしまうと、菌が死にきらずに耐性化することがあります。



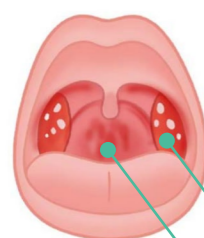
患者のみなさまへ

急性咽頭炎

のどの痛みが主な症状です
主にウイルスが原因ですが、細菌が原因となることもあります



急性咽頭炎



のどの奥に炎症が起こることを咽頭炎と言います。主な原因はウイルスによる感染ですが、菌が原因となることもあり、**細菌による咽頭炎と判断された場合は抗菌薬が処方されます。**

扁桃が赤く腫れる白い膿がつくこともある

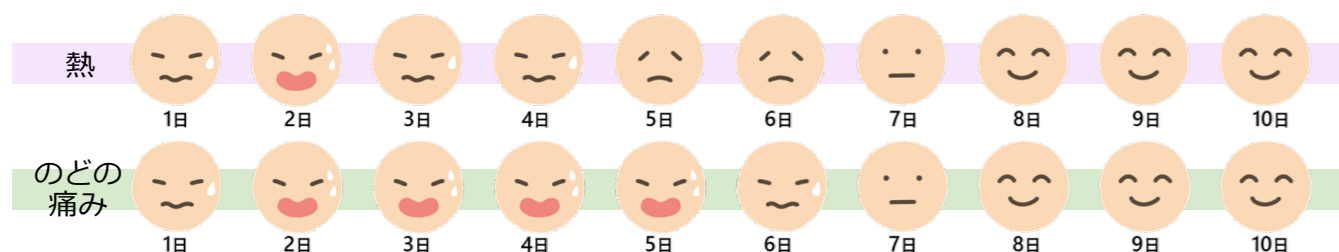
のどの奥が赤くなる



◆ これからの症状は？

- ・ 3日目くらいまではのどの痛みがひどかったり、熱が続いたりします。
- ・ 頭痛や咳も出ることがあります。
- ・ 7-10日間でだんだん良くなっていきます。

一般的な症状の強さの変化



◆ 治療は？

- ・ ゆっくり休んで、栄養をとりましょう。
- ・ ほとんどの場合、ウイルスに感染して症状が出ているので、抗菌薬はのんでも効果がありません。自分の免疫で治っていきます。
- ・ のどの痛みは痛み止めで和らげることができます。
- ・ ただし、細菌性と判断された場合、抗菌薬を処方されます。**用法用量を守ってのみ切りましょう。**

溶連菌 (A群溶血性連鎖球菌) について

- ・ **成人の咽頭炎**の10%程度が溶連菌によるものと言われています。
- ・ 細菌による感染なので抗菌薬が有効です。
- ・ 抗菌薬は症状が治っても細菌が残ることがあるので最後までのみ切ってください。



再度受診が必要な場合

最初は自分の免疫で治る咽頭炎と思って、後から別の病気だとわかることもあります。下記の症状に当てはまる時は、もう一度受診しましょう。

- 呼吸がしにくい、またはのどがつまる感じがしてきた
- のどの痛みでのみ込むのが難しく、食事や水分を摂れない、痛み止めの効果がない
- 唾をのみ込むことも難しく、唾液がだらだら口から出る
- 口が十分に開けられない
- 声がこもった感じがする
- 4日以上経っても38℃以上の熱が続く
- 息を吸うときに、のどがつまった感じやヒューヒューという音がする
- 経過に不安がある



【抗菌薬とは】

抗生物質といわれることもあります。病気の原因となる細菌を殺したり増やさなくする薬です。

【ウイルスに抗菌薬は効きません】

- ・ 抗菌薬は細菌をやっつけるものです。そのため、ウイルスの感染症には抗菌薬は効きません。
- ・ 不必要に抗菌薬を使うと、**抗菌薬が効かない細菌 (薬剤耐性菌)**ができる可能性があります。薬剤耐性菌ができると、今後、抗菌薬が必要な病気の時に使える抗菌薬が少なくなり予防や治療がうまくいかなることがあります。
- ・ 抗菌薬をのむと、下痢、吐き気や発疹などの副作用がでることがあります。



*免疫を低下させる薬をのんでいる方、肺や心臓に病気がある方は違った経過になることもあります。主治医の先生とよくご相談ください。

薬剤耐性菌とは？

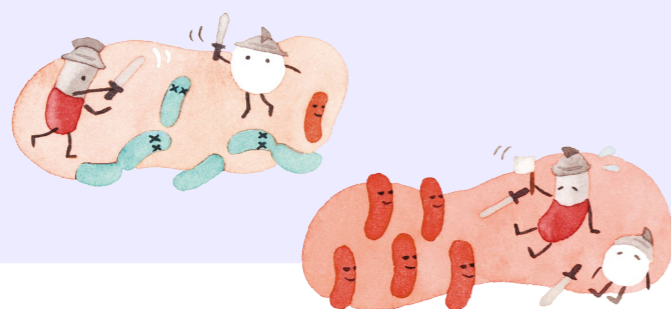
「薬剤耐性菌」とは、抗菌薬が効かない、もしくは効きにくい細菌です。私たちの体の中では無数の細菌(常在菌)がバランスを保ち健康環境を守っています。

抗菌薬を飲むと、体の中の細菌のバランスが崩れ、薬剤耐性菌が増えやすくなります。また一部の菌が、抗菌薬から逃れるために薬剤耐性菌に変化してしまうことがあります。

薬剤耐性菌を増やさないために

抗菌薬が必要な時以外は飲まないようにすることが重要です。多くの気管支炎はウイルスの感染なので抗菌薬は効きません。

また、抗菌薬が必要と判断され処方された時は、指示されたのみ方でのみ切ってください。抗菌薬を中途半端に使用してしまうと、菌が死にきらずに耐性化することがあります。



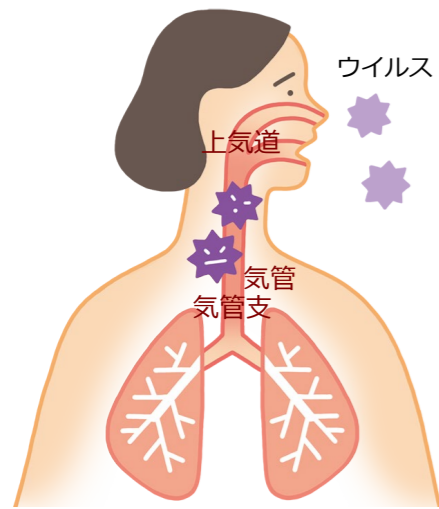
患者のみなさまへ

急性気管支炎

ほとんどはウイルスによる感染が原因となります
主な症状は咳で、咳が治まるまで数週間かかることもあります



急性気管支炎



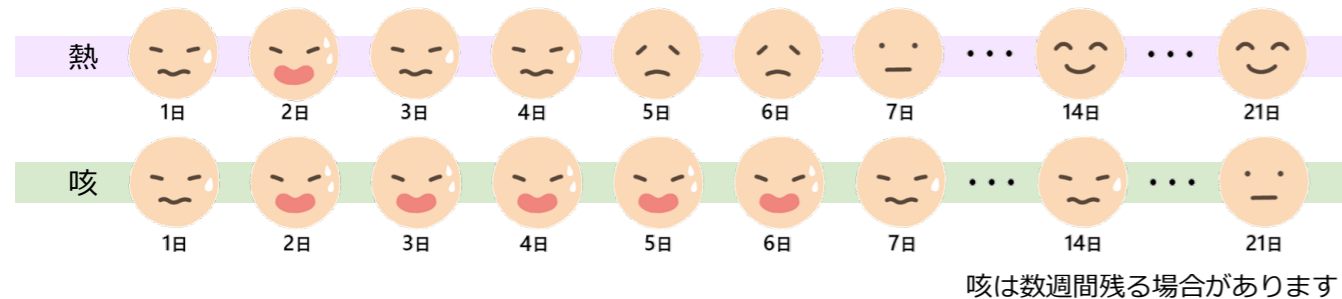
ほとんどはかぜと同じように、ウイルスが原因です。炎症がのどより奥の気管支まで及んだ状態を気管支炎といいます。痰が絡んだり、咳が出ます。



◆これからの症状は？

- ・しばしば熱がでますが、2-3日で治ります。
- ・咳は数週間かけて、徐々に治まってきます。

一般的な症状の強さの変化



◆治療は？

- ・ゆっくり休んで、栄養をとりましょう。
- ・脱水にならないように、また痰を薄くして出しやすくするため、十分に水分をとりましょう。
- ・咳がひどい時は咳止めをのんだり、熱が辛いときは解熱剤を使うと楽になります。
- ・タバコを吸っている人は、咳が長引くのでやめましょう。
- ・経過が思わしくない場合は再度受診してください。

再度受診が必要な場合

最初はウイルスによる気管支炎に見えても、肺炎やその他の病気であることがあります。下記の症状に当てはまる時は、もう一度受診しましょう。

- 食事や水分が摂れなくなってきた
- 息苦しく、呼吸が早くなってきた
- 4日以上経っても38℃前後の熱が続く
- 息をするときにヒューヒューという音がする
- 眠れないほど咳が強い
- 咳が3週間以上続いている



【抗菌薬とは】

抗生物質といわれることもあります。病気の原因となる細菌を殺したり増やさなくする薬です。

【ウイルスに抗菌薬は効きません】

- ・抗菌薬は細菌をやっつけるものです。このため、ウイルスの感染症には抗菌薬は効きません。
- ・不必要に抗菌薬を使うと、**抗菌薬が効かない細菌(薬剤耐性菌)**ができる可能性があります。薬剤耐性菌ができると、今後、抗菌薬が必要な病気の時に使える抗菌薬が少なくなり予防や治療がうまくいかなくなることがあります。
- ・抗菌薬をのむと、下痢、吐き気や発疹などの副作用がでることがあります。



*免疫を低下させる薬をのんでいる方、肺や心臓に病気がある方は違った経過になることもあります。主治医の先生とよくご相談ください。